



ご入学・ご進級おめでとうございます

4月1日からスタートする学童クラブの生活。1年生にとっては、不安と期待でいっぱいですね。2,3年生以上の子ども達にとっては1年生を迎え入れるお姉さんお兄さんシブを発揮する時でもあります。そして1年生保護者のみなさまにとっても、初めての小学校、初めての学童クラブ。不安と期待はお子様と同じではないでしょうか？

解決の糸口

その①

不安な気持ちは、まず保護者の友達作りから「保護者同士の横のつながり」が子どもを守り、生活を豊かにする第1歩！

子どもにとって友達が大切なように、保護者にだって友達は大切です。子どもだって初めての小学校生活ですが、保護者だって不安がいっぱいの1年生です。

保育園と違い毎日の送迎が必須ではなくなるので、学校の先生や学童クラブの指導員さんと直接お話する機会も減り、学校や学童クラブの様子や伝達事項は我が子の伝達能力がカギ…となります。また、学童クラブの保護者は、ふだんなかなか他の保護者と交流する機会が少ないため、情報共有が遅くなったり、時には知らなかった、という事になりがちです。

学童クラブ父母会では、親子で交流できるイベントを開催して親睦を深めています。夏休みに親子で宿泊ツアーを開催し、川遊びやスイカ割り、キャンプファイヤーを満喫した父母会もあります。（父母連HP父母連ニュース2024年NO.4）子どもも大人も楽しみながら交流して子育ての悩みや不安の相談や仲間作りができる貴重な場です。

ぜひ保護者がつながれる場には積極的に参加して横のつながりをつくりましょう。学童クラブ主催の保護者会や学校の保護者会、町内会などの地域の集まりにも積極的に参加して横のつながりを作りましょう。もちろん父母会の中でもLINEで横のつながりを作っている父母会もありますのでぜひつながってください！

「ふぼれん」とは？



世田谷区学童保育クラブ父母会連絡会の略称「父母連」です

父母連は学童保育クラブの充実・向上のため

- ①父母会同士、区外の父母会・指導員との交流、情報交換
- ②保護者同士、親と子の親睦を深める場の提供
- ③行政・議会への働きかけ などの活動を行っています。

1年間の主な活動

○ニュース発行 ○新入生保護者のための学童情報交換会

父母会の活動紹介

11/9(日), 11/16(日)zoom開催

学童をめぐる動向
を発信

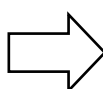
保育園等の保護者と現役学童クラブ保護者が交流し、学童の情報を入手できる場を作っています。

○要望書提出

保護者の声を
行政に届けます。

○全国・都との繋がり

保護者の学びの場を提供
全国のとりのくみから学びましょう



解決の糸口

その②

指導員さんと仲良くなりましょう

学童クラブは学校と別組織で、役割も違います。学校は学習の場所ですが、学童クラブは生活の場所です。一見、同じ学校という建物の中で居場所が異なただけ…と思いがちですが、子どもは学校から学童クラブへ「ただいま」と帰り、学校での緊張を解く居場所となっています。そして学童クラブの指導員さんは、子どもの生活や遊びをサポートしてくれる強い味方です。「生活」の部分を見守っているの、学校よりも家庭に近い雰囲気の中で指導をしてくれています。4月は子どもにとっても感興の変化が著しい時期です。ぜひ積極的に保護者会や個人面談、連絡帳を活用して指導員さんとたくさん話し、一緒に子どもを育てていくパートナーとして信頼関係を作っていきましょう。



子どもは必ず自立します

保護者同士や指導員さんとのつながり、そして地域とのつながりが大切です。小学生になると子どもは1人で学校に行き、学校から学童クラブに帰り、そして家に帰ってきます。送迎が必須の保育園とは違って「1人で」判断しなければならない事も増えて来るでしょう。通学途中の地域の方々の見守りも子どもを助けてくれます。失敗もたくさんあるでしょう。でも心配はいりません。必ず子どもは自分のペースで自立していきます。先輩ママ、パパ達は、この「1年生の壁」を乗り越えてきた「今は笑い話」なエピソードをたくさんもっています。子どもと一緒に親もゆっくり成長していきましょう。1年後には、笑って話せる日を信じて…

○総会・ブロック会

近隣の父母会同士の情報交換会

父母会運営や困り事解決のヒントを得られます！

総会：6月（調整中）対面開催

ブロック会（zoom開催）9/27、12/13(土)10～12時

2/14(土)19～21時



第53回東京の学童保育研究集会

開催日:2025年 5月25日(日)

開催場所:文京区立誠之小学校

記念講演:杉田 真衣さん（東京都市大学准教授）

「子どもと共にいまを生きる」

参加費:1人2500円（参加費は父母連で補助します）

参加希望の方は父母連メールinfo@fuboren.tokyoまで



2024東京の学童保育研究集会 レポート【私立和光小学校学童保育クラブ指導員 榎本祐明さんより】

6月9日（日）に第52回東京の学童保育研究集会に参加してきました。オンラインなしの現地開催は5年振りだったそうです。その会場が和光小学校であることを誇りに思います。

午前に行われた全体会の記念講演は横須賀市の指導員さんが語ってくださって、ちょうど自分と同じくらいの職歴でしたから共感する話ばかりでした。『子どもは一筋縄ではいかない』おもしろいですね。

午後の分科会、自分は第1分科会の「学童保育ってどんなところ!？」に参加しました。ここでは文京区の講師の方がご自身の実践レポート形式で関わってきた子どもの話をしてくれました。中でも印象に残ったエピソードを3つご紹介します。

《口調が強い子について》 口調が強い子はたいてい変わることを怖がっている子。周りからは強いと思われがちだけど実は弱い子。子どもは多角的に見ないと見抜けないから指導員は人間力が試される

《継続的なあそびについて》 「あそびに入れてもらえない」と言う子がどれくらい学童に来ているか把握しよう。継続的にやりたいあそびだと明日も明後日も学童に来ると分かっていると子ども間でアテにされなくなってしまう。そこを配慮してうまく子ども同士を繋げられたら良い。

《オニごっこのオニになりたくない子に寄りそう指導員》 講師の方が体験した文京区の学童でのことです。一般にオニごっこは好きだけどオニにはなりたくない子がいます。特に低学年によくあります。（和光学童でもよくあります）その日、文京区の学童でオニごっこをしていて、オニにタッチをされた子が相手の首をしめてしまったそうです。危険行為だけにそういうことがないように指導をして、その日の保育後 ミーティングで指導員共有をした時、ある非常勤指導員さんが言ったそうです。「オニになりたくなくて首をしめてしまったんですね?」「ということはオニにならなければみんなとあそびたいんですね?」次の日、その非常勤指導員さんは消しゴムで出来た人形をその子に渡し、「タッチされてもこの身代わり人形がオニになるから大丈夫だよ」と言ったそうです。そしてそれ以降オニごっこが成立したのだそうです。すごいですね。今回の研修でもっとも感動した話でした。素敵な指導員さんですね。

さて、表題にもありますが学童保育はどういったところなのか。東京の学童保育を充実させる連絡会の冊子には以下のように綴られています。

学童保育の役割は、「保護者の就労などにより保育を必要とする小学生の安心・安全な生活を継続的に保障すること」「保護者が安心して働きつづける等を保障し、その家庭を守ること」です。そして学童保育は、子どもたちが毎日「ただいま」と学校から自分たちで帰ってくるところです。子どもたちが家庭や学校でのできごとや友だちとのかわりなど、心にかかえた荷物を、ランドセルと共におろすことができる「居場所」です。

あらためてこうして読むと身が引き締まります。分科会でもこういったところをや学童保育がどのように発足したかについて再確認をしました。学童保育の歴史は私が生まれる前1950年代から始まります。地域の子ども会から発足した学童もあるそうです。そういえば和光学童保育クラブも49年前の夏休みに親和会室を使って保護者が交代交代でお互いの子どもを預かり保育をしたことから始まっているそうです。（49年前に広島で開催された全国学童保育研究集会の記念講演は丸木先生が登壇されていたのでおそらく和光の学童発足に関しても語られていたのではないのでしょうか。そう思うとすごいですね。これに気付いた時たいへん驚きました。なんとか音源を手に入れようとしたのですが叶いませんでした。残念）さて、一般的には1950年代に発足した後、学童保育は繁華街を中心に広がっていきます。そういった場所で小学生が遊んでいるのを気にして行政が整理してつくっていったのだそうです。なので渋谷あたりに学童ができたのは早かったみたいですね。ただし当時は全員非常勤の指導員で、アルバイト募集のチラシにも「学童は編み物をしながら片手間にできるお仕事です」と紹介されていたそうです。その後、1998年に法制化されます。なので先に学童がつくられて、その後に国が認めたという順番なのです。財政支援は弱いけど国に認められていることで子どもの人数は1室（1つの学童）につき40人までとされています。（文京区は50人まで）さらに、23区では基本的には単年度申請なので毎年学童に通えるかどうかの審査があります。40人の中に入れるかどうかは点数によるのです。※学年が上がるだけでも点数は変わります。これはきっと子どもも保護者も指導員も、みんながつらいでしょうね。さまざまな情勢を聞きましたが振り返ると自分たちがいかに恵まれているかが分かりました。私が参加した分科会は第1会議室だったのですが講師さんが窓の外を見ながら「和光の学童はどこで遊んで良いことになってますか?」と聞いてきました。それに答えた時、講師やほかの参加者も驚いていたんですね。プールが使えることも、職員室にいる先生とお話しても良いということも、毎月副校長と面談していることも、保護者と指導員の自主運営のため補助金なしでやっていることも。大勢に支えられて和光学童が成り立っていることを実感しました。研修に参加するといつもこの気持ちになります。このような機会を与えていただき学童会員のみなさんにあらためて感謝します。ありがとうございました。

※世田谷区の新BOP学童クラブは定員がなく、点数制ではありません。



子どもたちに豊かな学童生活を、
父母たちに楽しい父母会活動を、

【父母連HP】【父母連メール】



父母連ニュースNo.1

2025年4月1日発行

世田谷区学童保育クラブ父母会連絡会

URL <https://www.fuboren.tokyo/>

mail info@fuboren.tokyo

【父母連ニュース
バックナンバー】こちら→



父母連会費について

●2025年度父母連会費は、1年間200円×集金世帯数です

■郵便振替口座：01110-6-650871

■加入者名：世田谷区学童保育クラブ父母会連絡会

※「通信欄」に「父母会名」「明細」をご記入ください

《銀行振り込みの場合》

■銀行名：ゆうちょ銀行 ■金融機関コード：9900

■店番：019 ■店名（カナ）〇一九（ゼロイチキュー店）

■預金種目：当座 ■口座番号：0650871

